




館名	油木協働支援センター		
事業	「にしかわ化石館」発 油木の歴史大発見（地学編 Part2）		
趣旨	<p>○子供：「地学」を通じた、地域の理解・自然保護意識の醸成・郷土愛の育成・学力の向上</p> <p>○地域：教育力の向上、生きがい・やる気・充実感の向上、生涯学習意識の高まり</p> <p>○施設：生涯学習の拠点とした「にしかわ化石館」の充実</p>		
特徴	<p>○「地形探索」「化石発掘」というこの地域ならではの資源を題材にしている。</p> <p>○地域資源を体験的に学ぶ。（地域フィールドワーク、化石発掘、化石クリーニング等）</p> <p>○講師を招聘し、体験だけではなく、地層の歴史等の知識についても習得できる。</p>		
事業の様子			
	<p>【1日目】</p> <p>上野山方地区の地形探索をし、化石発掘を行った。地層の様子や採取方法を体験的に学ぶことができた。</p>	<p>【2日目の前半】</p> <p>採取した化石のクリーニングを行った。参加者全員が化石を発見でき、標本箱に入れて持ち帰った。</p>	<p>【2日目の後半】</p> <p>白亜紀・ジュラ紀の恐竜や神石高原町の地層の歴史を学び、地域の自然への理解を深めた。</p>
活動実績	<p>【実施期日】</p> <p>① 8月7日（月）</p> <p>＜「体験活動」地形探索・化石発掘体験＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野山方地区でフィールドワーク。地形探索や化石発掘体験を行う。 <p>＜「学習活動」地域の歴史を学ぶ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カイエビ化石を中心に化石や地層の基礎知識を学ぶ。 ・神石高原町から化石が出土する理由を、当時の地形と関連付けて学ぶ。 <p>② 8月8日（火）</p> <p>＜「創作活動」化石クリーニング体験＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採取した岩のクリーニング、化石の標本箱を作製する。 <p>＜「学習活動」地域の歴史を学ぶ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白亜紀・ジュラ紀に生息した恐竜の特徴や進化の様子を学ぶ。 ・神石高原町の地層の歴史を体感する。 <p>【実施場所】</p> <p>① 油木協働支援センター分室「にしかわ」、にしかわ化石館</p> <p>② 油木地域周辺（上野山方地区）</p> <p>【連携機関・団体】</p> <p>油木協働支援センター化石魅力化プロジェクト</p> <p>【事業費】</p> <p>65,800円（内訳：報償費35,800円、使用料及び賃借料30,000円）</p>		

成果と課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「体験活動1」（発掘体験）において、露頭（野外において地層や岩石が露出した場所）からの堆積した頁岩（堆積岩）の採取方法が理解できた。地層の様子を直接目にして学ぶことができた。 ○「体験活動2」（化石クリーニング）では、事前に採取しておいた井原市稲木地区からの頁岩からは、参加者全員がカイエビの化石を発見し、実物に触れることで地域の自然に対して興味（驚き）をもつことができた。 ○地元出身の講師 松岡敬二先生による指導・鑑定を受け、発掘・クリーニングした化石は大切に標本箱に入れて持ち帰ることができた。 ○「学習活動」では、白亜紀・ジュラ紀の恐竜を中心に映像を通じて、恐竜の特徴や進化の様子をわかりやすく解説してもらったことで、参加者も楽しく学ぶことができた。参加者も「にしかわ化石館」がさらに身近に感じられた。運営側にとっても講師の「にしかわ化石館」に対する熱い思いを改めて感じ、今後の取組の方向性も連携することができた。 ○普段より協働支援センター等の事業には参加していなかった児童が初めて参加した。保護者に尋ねたところ、「自分から参加したいと言った。ワークショップのまとめも楽しそうにしていた。自由研究の良い学習となった。」等の声が寄せられた。 ○本事業実施に係り、県立生涯学習センター・尾道市御調町河内公民館より視察を受けたことで、他地域から関心を向けられており、「にしかわ化石館」（化石魅力化プロジェクト）の活動が多角的に展開できる可能性を感じた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学生（特に低学年）の学習は、実体験できるもので、感動と楽しく安全に学習できることが大切である。今後もその点に留意して講座を企画・運営する。 ○前年に続き平日開催となったため、本講座に興味・関心がありながらも保護者の都合により参加できなかった児童がいた。 ○2日とも半日開催で設定したため、移動時間も含めて窮屈な日程になった。（特に初日は小雨も降る中で、低学年にとっては負担が大きかったかもしれない。） ○採取した化石を大切に保管する・より詳しく観察したり、記録や絵で表現したりできる等、地域資源を活用した学びにより、今後とも子供たちを育てていくことが大切である。（学校・家庭教育との連携） <p>【今後に向けて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「にしかわ化石館」展示の「化石・鉱物類」を、改めて「油木だけの宝ではなく神石高原町の宝」として認識し、町を挙げて将来的な活用方法を協議する必要がある。また、地域人材・地元実践者の活動を正當に評価することや、学校教育と社会教育の連携・融合等「社会教育・生涯学習」に対する基本的な認識や地盤の醸成が必要である。
連絡先	<p>油木協働支援センター 〒720-1812 広島県神石郡神石高原町油木乙 1870-4 電話：0847-82-0701 E-mail：y-kyoudou@sky.kagayakinet.ne.jp</p>

